

1 題材 いい音を見つけてあそぼう（Let's play different sounds.）

2 目標

- いろいろな音に関心をもって聴いたり、音探しをしたりすることができる。
- 音色や響きの違いを感じ取り、音の出し方や組み合わせ方を工夫して演奏することができる。
- 友達と一緒に活動する中で、音作りを楽しむことができる。

3 指導計画（全8時間）

第1次 情景を想像しながら聴き、歌い、いろいろな音の響きに関心を持つ。・・・3時間

第2次 音の出し方を工夫し、音色や響きの違いに気づく。・・・2時間

第3次 音の組み合わせ方を工夫し、歌に合わせて演奏することができる。

第1時 「かぼちゃ」を身体表現や手拍子をつけて歌う。

第2時 音の組み合わせを考え、グループでリズム伴奏を工夫する。・・・（本時）

第3時 リズム伴奏をさらに工夫したり、他のグループの演奏を聴いたりして楽しむ。

4 指導上の立場

（1）児童の実態

本学級の児童は、音楽に合わせて歌ったり踊ったりすることが好きで、イマージョンの時間を楽しみにしている。1年の時からイマージョンの音楽を学習しているので英語を聞いたり英語で話しかけられたりすることに慣れてはいるが、英語で答えるとか自分から英語を使うとかいうことにはとまどう児童も多い。また、鍵盤ハーモニカなどの楽器の演奏やグループ活動が苦手な児童も数人いる。

（2）授業づくりの視点

- 「かぼちゃ」は、音色の違うものを1つずつ演奏し、みんなで合わせるという曲で、個人演奏だけでなく、みんなで演奏する楽しさや工夫する楽しさも感じられる曲である。そのため、第2次で気づいた音色や響きの違いを生かして学習できると思われる。
- リズム伴奏の工夫をするために歌詞に注目させたい。歌詞のように英語劇をしてみることで、1人2人とかぼちゃを引く人が増えていく様子をとらえさせる。そしてその様子が楽器を増やすことで表せることにも気づかせたい。
- グループでの活動が主になるため、グループを回りながら個々に話しかけ、できるだけ英語に触れさせたい。また、しっかりと考えたり練習したりしている児童やグループを称揚したり紹介したりして、活動の意欲を持たせたい。
- 活動の説明をしたりきまりを確認したりする際には、英語だけでなく図や絵も使い、全ての児童が活動内容を理解し楽しく活動できるようにする。
- 学級担任は、イマージョン講師による英語が児童の活動に結びつくように補足説明を加えたり、個別に支援が必要な児童を補助したりする。

5 本時案（第3次第2時）

<p>目 標</p>	<p>○音色の違いや組み合わせを考え、「かぼちゃ」の歌が楽しくなるようにリズム伴奏を工夫する。 ○音を組み合わせたり、友達の演奏を聴いたりする活動を通し、友達の表現のよさを感じたり、一緒に音づくりを楽しんだりする。</p>	
<p>中心となる 英語表現</p>	<p>Choose your instrument. (part.) Let's practice. Let's play different instrument. It's your turn. You can do it! Was it fun?</p>	
<p>学 習 活 動</p>	<p>教 師 の 支 援 ☆は英語理解への支援</p>	<p>準備物</p>
<p>1 Warm-up songs を歌う。 2 本時のめあてを知る。</p>	<p>○「Hello」「Looby-loo」を身体表現をしながら歌うことにより、楽しい雰囲気作りをする。 ○リズムに乗ってのびのびと歌っている児童を称揚する。立ち止まっている児童には声をかけて一緒に歌い、リラックスできるようにする。 ○前時のように「かぼちゃ」に手拍子を入れて歌い、CDとの違いをつかませることにより、他の音を入れたいという思いを持ちやすくする。</p>	<p>CD リズム譜</p>
<p>Let's make good sounds! ～音の組み合わせを考えよう～</p>		
<p>3 音の組み合わせを工夫する。 4 本時のまとめをする。 5 Farewell song を歌う。</p>	<p>○グループでいろいろな楽器を試すことができるように材質ごとに楽器をまとめておく。 ○同じ楽器を選んでもよいことや手作り楽器を入れてもよいこと、歌いながら練習するとよいことなどを助言する。 ○自分の音をタイミングよく出せない児童には、教師と一緒にリズムをとり、タイミングをつかみやすくする。 ☆グループを回り、"Good job!" "That's good."などの称揚や"Which instrument are you playing?"等の声かけをする。 ○演奏できるようになったグループを紹介し、音の組み合わせや順番の違いに気づかせることで、自分たちの演奏に意欲が持てるようにする。 ○友達の音も聴きながら演奏し、歌うことで、音を組み合わせる楽しさやみんなで演奏する楽しさを感じさせ、もう少し工夫したいという意欲づけをする。 ☆"Did you play good sound?" "Did you listen to your friends' sound?"と問いかけ、自分のがんばりにも気づくようにする。 ○「Skidamarink」を身体表現をしながら歌い、和やかに終わる。</p>	<p>打楽器 楽器の絵 (大) 楽器の絵 (小・グループ数) ふりかえり カード</p>

- 評価 A 友達の音との組み合わせを考えながら、拍に乗って演奏している。
B 自分の音を聴きながら、拍に乗って演奏している。

